



## 日本で暮らして約1年！

特別養護老人ホーム『能舞の里』で初の外国人技能実習生として働く、インドネシア人のマヤンさんとシスカさんをご紹介します。

☆令和4年5月8日～現在

### 【マヤンさん（写真中央）】

私は、色々な経験をしたいたいと思いで日本の仕事を選びました。その夢が叶い、今、日本で働いているのでとても嬉しいです。

東通村に来て思ったことは、とても静かで役場の形がとても珍しい形だと思いました。

東通村には遊びに行くところがないので、少し残念で寂しいです。コンビニが近くにあったらとても便利だと感じました。

ただ、東通村の皆さんはとても優しく良くしてくれます。これからも介護の仕事を一生涯懸命頑張りたいと思います。

### 【シスカさん（写真右）】

私が日本に来てから、あっという間に1年が過ぎました。東通村に初めて来たときは森がたくさんあり、驚きました。私が最初に見たのは緑色の建物です。遊ぶ場所だと思ってい後で遊びに行こうと思っています。

たら、川村施設長に「あれは、村役場ですよ」と教えていただき、とてもビックリしたのを覚えています。

翌日には、畑中稔朗村長に挨拶へ行きましたが、とてもドキドキして言葉が出ませんでした。でも、畑中村長が笑顔で優しく歓迎してくれたので、本当に嬉しかったです。

残念ながら、どこへ行くにも遠くて大変ですが、自然豊かな東通村が大好きです。

3年間たくさん学んで、思い出を作りたいと思います。

### 【施設長 川村哲也さん】

能舞の里で初の外国人技能実習生を令和4年5月8日に受け入れてから、早いもので1年弱が経ちます。インドネシアの温暖な国から四季の彩溢れる、しかも最北の下北まで・・・毎日寒さとの格闘でした。

しかし、持ち前のスピリッツ精神で入所者の方々と日々

明るく接してくれているお陰で、今では方言も分かるようになってきています。

施設の重要な介護スタッフの一員として、逞しさを増して残りの2年間全うしてほしいと思っています。

